

65 「2017年8月30日～テニスサークル外伝“バースデーカラオケオフの乱”へのメッセージ」

淳へ、誕生日おめでとう。父、母からのメッセージです。

2017.08.30

32年前、君は福岡で生まれました。初めて親になった時の気持ちは今でも忘れられません。

君の誕生は人生最高の喜びを与えてくれたのです。1歳になる前に東京に移り入学までの6年間を過ごしました。親が言うのも変ですが、君はとても可愛く賢く、周りの多くの人から愛されました。

その後兵庫県西宮で小学校6年間を過ごしましたが、この時期が君の進む方向を決めたのではないかと思っています。宝塚市の近くに住んでいたため、小学校1、2年のころ宝塚歌劇を観に行きましたね。毎年、阪神競馬場の夏祭りにはヅカガールが来て歌って踊って、それを見て帰る時、君はいつも歌い踊りながら帰ったのです。とにかく歌や踊りを覚えるのが早かった。

母がマタニティ水泳をしていた影響か、水泳教室では上達が早くとても水泳が得意でした。

水泳に限らず、君は決して運動神経は悪くないと思っています。ゲームやアニメに熱中したのもこの頃です。遠くのイベントにも一人で出かけて行き、大人の人と友達になったり、深夜放送に投稿したりしていました。

西宮では阪神淡路大震災で小学校が崩れ大変でしたね。しばらくの間、疎開というかたちで母と君たちは私と離れて長崎に住みました。その後学校は再建され、児童会長としての君の挨拶が素晴らしかった。教育長がとても褒めてくれて、校長先生からはお会いする度に、21世紀を生きる子供さんを育てているのですよと言われました。

私達両親は君が豊かな感性を持った人に育つことを願っていましたが、その感性は親の枠に収まりきれないものでした。それが原因で親子の衝突がありました。君は辛かったと思いますが、私達もとても苦しんでいたのです。何事も一人で決めてしまう君は、高校も大学も親に何の相談もなく決めてしまいましたね。芸術学部に行きたいと言ったときは、将来どうなるのか不安でした。

それでもゼミの教授（作家の先生）は、にこやかに“淳は大丈夫”と言っていたのは、君の将来性を見通していたのかも知れません。

つい先日、君のフランス語辞書の中からフランス語教師の短い手紙が出てきました。

『あなたと様々な場面で会話をしたのが楽しかったです。“先生の授業は全然わかりません！”と言われたのはキツかったけれど（笑い）あなたはとても素敵な感性を持っていると思います。

それを思う存分活かせる場で、人生を送っていけるといいですね』

この言葉を見て、淳にピッタリの言葉だね、と夫婦して納得しあいました。

君は事あるごとに“自分は運がいい”と言っていましたが、その言葉どおり「運と努力」で自分の道を切り開いてきましたね。ブログを毎日欠かさず継続して書けるところや、公演先で時間を見つけて「淳」散歩するところなど、私に似てるなあと思う。また、君がまだ母のお腹の中にいる時、私は家の中でいつも音程の不安定なフラメンコの唄ばかり聴いていたので、胎教で音痴になるのではないかと心配していました。まさか！音楽を職業にするとは思っていませんでした。

最後に、ファンや君を支えてくれる多くの人々に感謝の気持ちを忘れずに。

もう君の体は自分一人の体ではないのですよ。無理なダイエットをしないでファンの方々に夢と希望を与え続けられるよう、健康には充分注意して下さい。君の活躍は父、母の大きな喜びです。